



カトリック町田教会
町田市中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかずちの子

http://www.machida-catholic.jp/



「起きて、子どもとその母親を連れ
てエジプトに逃げ、わたしが告げる
まで、そこにとどまっていなさい」
マタイ 2-13

豊かな森・町田教会共同体

主任司祭 小池 亮太

昨年、秋も深まったころ、
花巻の大沢温泉自炊部に投宿
する前に、産地直売所に寄り、
最初に買い求めたのは天然の
キノコでした。

鬱蒼とした森は、静かに、
いつも同じ姿をして、そこに
在るように見えます。しかし、
森は健康で豊かであるために
変化と循環を繰り返していま
す。そのために大きな役割を
果たしているのが、キノコの
仲間です。それらは三つに分

類することができません。

「寄生菌」は、生きた木の
幹や根に生えるキノコの仲間
です。この菌に侵された木は
養分を奪われて、やがて枯れ
てしまいます。けれど、この

菌によって木が適度に枯れな
かったら、森の中に太陽の光
が届くことがあります。暗
い森には生き物が棲み着かず、
また、次の世代を担う若木も
光が届かなければ生長できま
せん。それは、森がいつか消

滅することを意味します。

「腐生菌」は、倒木や落葉
などを分解するキノコの仲間
です。もしこの菌がいなかつ
たら、枯れた木や落葉はいつ
までもそのままです。それら
が分解されて、養分を含む土
へと変わらなければ、土は瘦
せていきます。根を張ってい
る土に養分が無くなれば、木
は生長を続けることができま
せん。その結果、森に力が無
くなつていき、そこに棲む生
き物たちも減っていきます。

「共生菌」というキノコの
仲間もあります。この菌は、
生きた木の根に付いて栄養を
もらっています。同時に、
木の根が水と養分などを吸収
するのを助けて、木の成長を
促します。もし、この菌がい
なかつたら、木々は力強く生
長することも、多くの実を实
らせることもできず、生き物
を養う豊かな森をつくること
はできません。

このように、キノコの仲間
は、森の木の数を調整しなが
ら、世代交代の準備をさせ、
森の中にある物を分解して養
分を作り出し、木の根を守る
ことによって森の力を維持し
ています。

健康で豊かな森は、様々な
生き物を育み、また、多くの
恵みを生み出します。綺麗な
水と新鮮な空気は、深い森か

ら供給されています。そして、
美しく豊かな海を創っている
のは、健康な森なのです。さ
らに、豊かな森は、人間にキ
ノコをはじめ、様々な食べ物
や薬、材木や薪など、生きる
ために必要な多くのものを与
えてくれます。

世界に広がるキリストの教
会も、ただそこに在るだけで
なく、変化と新陳代謝や世代
交代を繰り返して今日まで続
いてきました。町田にある教
会も同じです。ここで人が生
まれ、死に、別の場所から人
がやって来ては、去ってゆき
ます。最近では日本以外の国で
育まれた信仰が持ち込まれ
て、より豊かな共同体へと成
長してきました。このよう
に、様々な出会いと別れを繰
り返しながら、それぞれの人
が、その時、その場所で、自
分の役割を誠実に果たしてい
るから、町田教会はここに在
り続けることができます。そ
して、「これからも町田教会共
同体が、豊かな森のようにこ
こに在って欲しい」と心から
願います。この共同体が豊か

感謝のうちに

運営委員会議長 林 佳香

年明けに思いがけず小池神
父様の小平教会への異動を伺
いました。雷の子の巻頭言を
拝見するのも今回が最後……

な森のようでも在り続けるなら、
町田教会はこの地域と世界に、
人がいきいきと生きるための
神の恵みを豊かに供給するこ
とができるからです。

この町田教会で洗礼を受け
た子どもや大人がいます。転
出していった人、転入してき
た人がいます。そして、この
聖堂で結婚式を挙げた人もい
れば、同じ聖堂から神のもと
に送り出された人、見送った
家族がいます。また、自宅や
施設で御聖体を待っている人、
病院でキリストと共に苦しみ
を担っている人がいます。そ
して、この教会で育てられた
神学生たち、着任し、離任し
ていった多くの司祭たち……

豊かな森のような町田教会
の一部となつてから六年が
経とうとする今年の一月七日、
「東京大司教区司祭人事異
動」が発表されました。その
中に「小平教会主任 小池亮
太師」という文字を見つけ、こ
こを去る時が来たことを知っ
てから、花巻の深く豊かで健
康な森を思い出し、このよう
なことを考えていたのでした。

とても残念です。

神父様は、夏も冬もナル
テックスで私達を迎えて下さ
いました。教会に入った時、

ふつと心が和みました。今思えば、それはとても有り難いこと！感謝しています。

伝道の書にあるように「生まるるに時があり、死ぬるに時があり……泣くに時があり、笑うに時があり……」いろいろな時に様々な思いを抱える私達に神父様は寄り添い、共に祈って下さって、私達は神様をより近くに感じ、慰めや希望で満たされました。

また、運営委員会は神父様が司牧をなさりやすいように調整していかなくてはいいのですが、逆に、神父様に能率よく、やりやすくして頂いたことも数多くありました。少し早いですが、六年間ほんとうにありがとうございました。これからもお元気で神様の望まれるお働きが出来ますよう、皆で祈っております。

さて、運営委員会のことですが、ここ何年か「運営委員をお引き受け下さる方がなかなか見つからない」現状です。原因は、会議のやり方でしょうか？ 運営委員は難しそう、大変そう、等、運営委員が携わる仕事の内容や量、あるいは選出方法でしょうか。

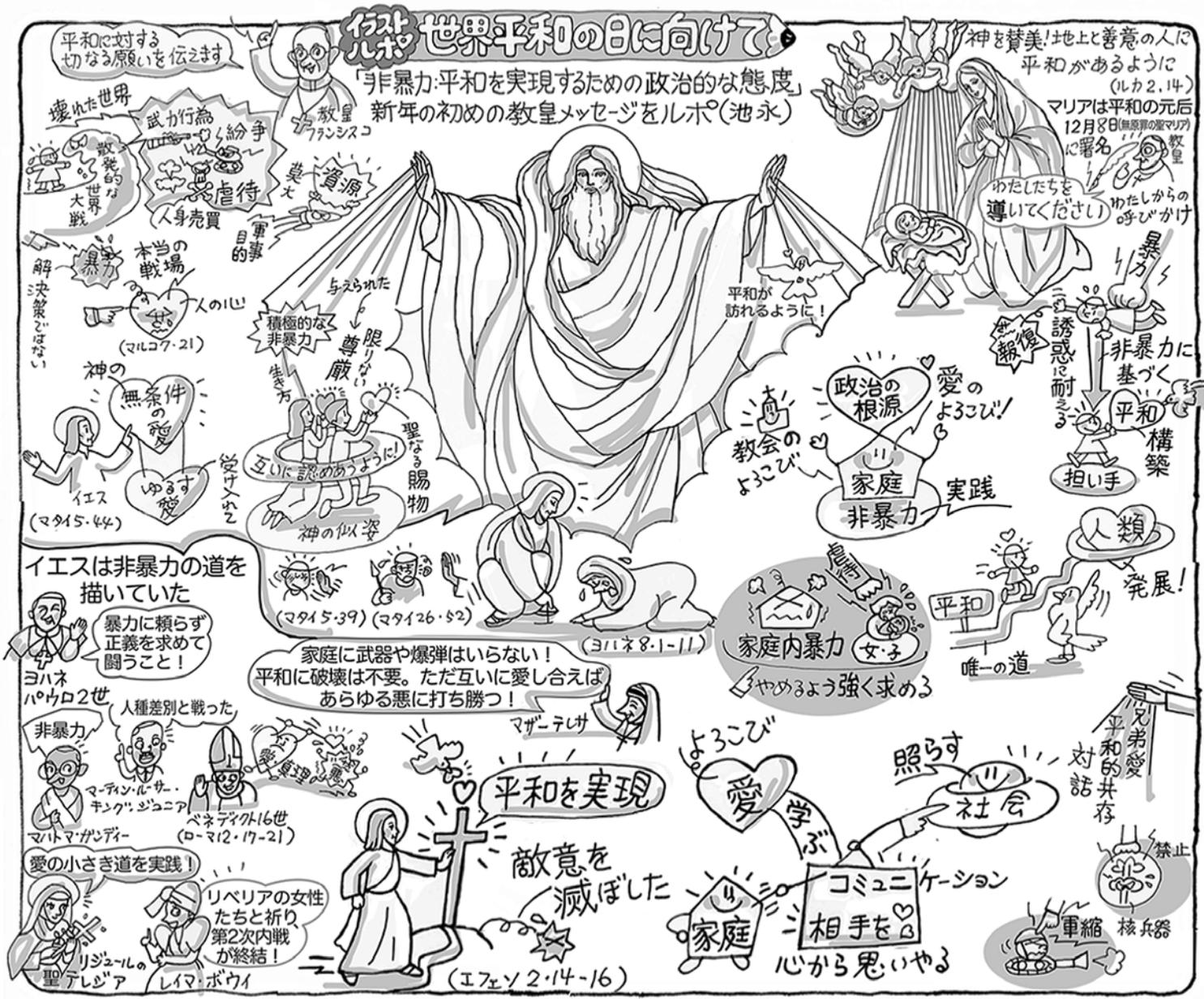
いづれにしても、ここで皆様と一緒に運営委員会について考え、見直すことを始めないと、教会運営が近々立ち行かなくなると考え、次年度への引継ぎ事項に挙げました。

町田教会には、その歩みの中で作られた規約があります。その中に息づいている精神を大切に、神様の導きを祈りながら、町田教会の現状にあった運営委員会、「やってみようかな！」と思える運営委員となるよう、皆様のお知恵とお力をお借りしながら考えてまいりたいと思います。これからは宜しくお願いいたします。

「向き不向きより前向き！」とお引き受けした議長。至らなかつたことばかり思い浮かび、申し訳なく思っております。あたふたしながらも皆様の欢声と笑顔と、そして祈るお姿に、ここは教会なんだ！祈りの場なんだ！とはつと立ち返り、そして教会に來られない方や天国の先輩方をも思いながら、十字架の下に集う恵みと喜びを、以前とは比べものにならないほど強く感じた二年間でした。

祈る時、心は神様に向かいます。町田教会の聖堂に集まる皆が、手を合わせるように心を合わせて、小池神父様から頂いたものを大切に、より神様の光を輝かせる共同体となることができますように。

ご指導、励ましやお祈りがありありがとうございます。神父様と皆様への感謝のうちに。



教会図書の利用状況

図書係 横塚千枝子

町田教会の図書は二七〇〇冊を超え、内容によって、「一般」「教理聖書」「黙想」「伝記」「こども」に分類されています。本棚は信徒ホールだけでは足りなくて、会議室や通路にもあります。このほか雑誌は、『カトリック生活』『福音宣教』『家庭の友』『聖母の騎士』を購読し、ビデオDVDは九〇巻あります。

図書の貸出状況は本に添付してある貸出カードで把握していますが、二年前からこれに加えて貸出ノートを作り、どの本がいつ誰に貸し出されいつ返却されたかを記録しています。二〇一六年の利用状況は二五二冊でした。このノートにより、長く借りていくかたへの催促もしやすくなりましたが、相変らず返ってこない本があるのが残念です。ノートから、どんな本が多く読まれているか調べました。

『キリスト教とは何か』粕谷 甲一（女子パウロ会）

六年前に亡くなられた粕谷神父の講話集。①復活の秘義をめぐって ②救われるのは誰か ③どこでトランプは鳴ったのか ④神よ あなとも苦しまれるか ⑤ゆれ動く日本人の心 ⑥死を越える

もの。これ以外にも芝の会発行の講話集も四冊あります。

『殉教者』加賀乙彦（講談社）

江戸時代に日本人として初めてエルサレムを訪れ、ローマでイエズス会司祭に叙階され、帰国後殉教した福者ペトロ岐部カスイの波乱の生涯。

『ナツエラットの男』山浦玄嗣（ぶねうま舎）

ナザレの男すなわちイエズスの物語。明るく力強く描く。

『サムライウーマン新島八重』

『天を想う生涯』黒田官兵衛と高山右近―守部喜雅（いのちのことば社）

いづれもテレビドラマで人気が。

『アシジのフランシスコ』藤城清治（女子パウロ会）

影絵の第一人者藤城氏の絵と文による美しい感動の一冊。

『教皇フランシスコのことは三六五』マルコ・パッパラルド編 太田綾子訳

教皇就任以来の説教から引用されたことばの数々。

『回勅 ラウダート・シ―』

ともに暮らす家を大切に

教皇フランシスコにより現代の環境問題を考察している。

『マルコによる福音書』

『ゆるしの秘跡と内的法廷』

ともに田中昇神父の訳。

『悪魔のささやき』加賀乙彦

『須賀敦子と九人のレリギオ―カトリシズムと昭和の精神史』神谷光信

寄り添いを考える会

代表 広田 悠大

「寄り添いを考える会」は若者や大人が集い、いじめや不登校などによって困難な状況に置かれている子どもたちや家族への「寄り添い」を共に模索し、必要とされたとき具体的に動けることを目的として活動しています。

また、身近にいる問題を抱えた子どもたちに寄り添うとともに、子どもに寄り添える大人を増やし、寄り添いから見える子ども達の現状を広く社会に発信していくことで、子どもが生きやすい社会の実現をめざしています。

昨年春に発足し、以来不登校経験者や引きこもり経験者を講師に招き、現状を共有し、寄り添いについて考える機会を重ねてきました。

また、みなとチャイルドライン・子ども電話（子ども電話相談サービス）の代表者を講師に招き、支援者としての現場経験から寄り添いについて考える等の活動も並行して行っていました。

＜発足に至る経緯＞

私は、激しい暴力を伴ういじめにより、中学時代に不登校を経験しました。

二〇一五年七月「ワイド

特別寄稿

壁を造ることだけを考えている人は… カルメル会司祭 中川 博道

「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助けける者を造ろう」（創世記2・18）と造られたわたしたち人間は、助けしてくれる相手を探しながら生きていきます。その助けしてくれる者は、わたしたちのあばら骨を抜き取って創られています。しかし、わたしたちが「眠り込んで」いるうちに抜き取られて、その跡を肉でふさがれていくために、わたしたちは自分から出て行ってしまっていることに気づきにくいようです。何か問題が起こると、自分独りのほうがうまくいく、元気な時は特に、わたしは独りでも何も不足しているものはないと思いがちです。あばら骨とは自分の呼吸、すなわち生きていることを直接支えていてくれるものです。それなしには、息をすることもできず、

生きていけません。また、「あばら骨」のこの意味は「側面」で、側面は単独では決して存在できません。

独りになって自分に閉じてこもってしまふと、決定的に何か足りないのです。自分を出ていったもうひとりのわたしの「側面」を捜すために、壁を取り払いつつ、自分の世界を出ていくしかないのです。

そして、今、地球は、天の父の兄弟姉妹であるみんな、「ともに暮らす家を大切に」することを緊急に考えなければならぬ時代に突入しています。教皇様と共に、地球上のすべての人々を兄弟姉妹として信じて受け入れ、壁を取り払って、出ていくことが求められています。





さようならラファエル助祭
 多くの信者に親しまれたラファエル助祭が司牧実習を終えてメキシコに帰られた。司祭叙階への道に恵み豊かなことを。

スクランブル(テレビ朝日系)の特集『夜回り先生 今若者たちに問う いじめの実態』に母と共に出演したところ、町田教会の皆様をはじめ、番組を見たという多くの方々から「何かをするときには声をかけてほしい」とのお声をいただきました。そして、皆様の関心がいじめ問題にとどまらず、多岐に渡っていることもわかりました。

どのような問題においても、夜回り先生こと水谷修先生の説く「一人の大人」にならなければならない状況に置かれている当事者への理解が第一歩であることから、今この瞬間にも苦しんでいる子ども・若者たちを知り、理解するための「寄り添いを考える会」を発足させました。



クリスマスお泊り会
 (12月10～11日)

会場提供など、町田教会と信徒の皆様のご協力には感謝しています。
 現在、会を支えるメール会員を募集しています。会員となつて、「寄り添い」をご一緒に考えていただければ幸いです。
 「寄り添いを考える会」HP
<https://yorisoi-machida.jindo.com>
 なお、当会について、二〇一六年九月二十七日付のカトリック新聞が詳しく紹介しています。ナルテックス掲示板にコピーを貼らせていただきますので、是非ご覧ください。記事はカトリック新聞オンラインからもご覧いただけます。
 オンライン記事URL
<http://www.cathoshin.com/news/yorisoi-hirota/11204>



ヨゼフ会新年会 (1月29日)

犠牲献金
 中高生会

1月8日 16,004円
 (ベロニカ苑へ)
 2月5日 10,802円
 (ベロニカ苑へ)
 (2016年11月、12月は募金活動が行えませんでした)

四旬節の準備行事

- ★3月12日(日) 11:50~15:00
 黙想会
 指導: 小林敬三 神父
- ★3月18日(土) 09:00~17:00
 タガログ語による黙想会
 指導: Fr.Edwin Corros, C.S
- ★3月25日(土) 26日(日)
 四旬節ゆるしの秘跡

信者動静

2016年11月~2017年1月
 (個人情報のため、削除しています)